

国語科学習指導案

学校名 海田町立海田西中学校
授業者 沖田 梨絵

- 1 日時 平成28年9月29日(木) 第5校時
- 2 学年 第2学年1組 男子21名 女子17名
- 3 単元名 『枕草子REMI X』～わたしの「をかし」を紹介しよう～
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語(平成20年)の第2学年「B 書くこと」の指導事項「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。」「才書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。」や、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「ア伝統的な言語文化に関する事項」の「(イ)古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」を受けて、自分の考えを効果的に伝える力を育てることをねらいとしている。

学習材「枕草子」は、古典の三大随筆の中の一つに挙げられ、筆者独自の視点で見聞きしたことや経験したこと、感じたことや考えたことなどを書き記している。人が気にとめないような素材に目を向けて、筆者独自の「をかし」を発見している点や、その場面对比を用いて鮮やかに表現することで読者の共感を呼ぶ書き方をしている点は、現代を生きる私達にとっても、表現をするときの参考となる。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、平成28年6月の「基礎・基本」定着状況調査の通過率が75.7%であった。タイプⅠでは、概ね定着しているが、四3「叙述の仕方の確認」の問題の通過率が54.8%と低く、タイプⅡでは、五2「目的に応じた引用」と「根拠に基づいた考えの記述」が共に56.2%にとどまった。無解答0の意識をもち、書こうとする意欲はあるものの、叙述のしかたや、条件を満たして書くこと、形式を参考にして書くことに課題がある。

また、生徒アンケートでは、「国語の授業はよくわかります」の肯定的回答は91.7%で、意欲的に授業に取り組んでいる生徒は多い。しかし、「国語の授業で学んだことを、普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています」は68.2%であり、うち「よくあてはまります」と答えた生徒は28.8%であった。

このことから、国語の授業で学んでいることが、日常生活と結びつけて考えることができていることがわかる。また、文章を読み返して十分な推敲をせず、読み手や聞き手を意識して表現したものになっていない場合が多々ある。

(3) 指導観

古典作品を学習する際、音読や現代語訳の学習であると捉える生徒が多く、古典を学ぶ必然性を感じにくい。そのため、本単元では、自分の考えを効果的に伝える力を育てるために、古典作品に表れた筆者の独自の視点や表現の工夫に興味をもたせる指導を行う。そこで、「わたしの『をかし』を紹介すること」を、単元を貫く言語活動として設定した。生徒は自分の体験や考えを書くことには慣れているが、独自の視点をもって書くことや、文章表現を参考にして書いたり、読み手を意識して書いたりすることに課題がある。筆者のものの見方・考え方や描写の工夫を参考にすることで、古典をより身近に感じ、読む必然性をもたせたい。

さらに、グループでの作業の中で自分の考えを述べたり、互いの意見を聞き合ったりして、互いにより良い文章のために学びあう姿勢を育て、課題を克服していく力を伸ばしていきたい。

5 単元の目標

- 古典を身近なものとして捉え、作品に表れたものの見方や考え方に興味をもち、読み手にわかりやすい文章を書こうと工夫することができる。 [関心・意欲・態度]
- 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くことができる。 [書くことウ]
- 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げることができる。 [書くことオ]
- 「枕草子」の内容や表現の特徴を知り、清少納言のものの見方や考え方に触れ、登場人物や筆者の思いなどを想像することができる。 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(イ)]

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書くこと	言語についての知識・理解・技能
・古典を身近なものとして捉え、作品に表れたものの見方や考え方に興味をもち、読み手にわかりやすい文章を書こうと工夫している。	・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書いている(ウ) ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。(オ)	・「枕草子」の内容や表現の特徴を知り、清少納言のものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。伝・国ア(イ)

7 本単元において育成しようとする資質・能力

- 【知識】 相手に効果的に伝えるための表現の工夫(描写・対比)
古語の知識
- 【スキル】 テーマに対して、清少納言の特徴を参考にして考えていく解決力
仲間と協働して、よりよい文章表現にしようとする主体性
- 【意欲・態度】 独自の視点を、清少納言になりきって表現しようとするチャレンジ精神
- 【価値観・倫理観】 既習事項を用いて、自分の考えを表現することができる自らへの自信
他者のアドバイスを聴き、自己の作品に生かす共感力

8 指導と評価の計画(全4時間)

次	時	学習内容	評価			資質・能力の評価 (評価方法)
			意欲	書くこと	知識	
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題の設定</div> 1 季節ごとの風物詩を考えて紹介文を書く。言語活動の見直しをもち、『枕草子』を音読する。	○			・自分が考える季節の風物詩と清少納言の挙げる風物詩の相違点に気づき、まとめている。 (ワークシート)

	2	<p>情報の収集</p> <p>2 『枕草子』序段の大まかな内容を理解し、筆者の視点や表現の工夫をつかむ。</p>			○	<p>・「枕草子」の内容や清少納言のものの見方や考え方に触れ、表現の特徴や工夫点についてまとめている。 (ワークシート)</p>	<p>・古語の知識 ・相手に効果的に伝えるための表現の工夫 (ワークシート)</p>
二	3 【本時】	<p>整理・分析</p> <p>3 清少納言になったつもりで四季の魅力を綴った文章を書く。</p>			○	<p>・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。 ・「をかし」「あはれなり」「わろし」等の古語の意味の違いを理解し、表現に用いている。 (ワークシート)</p>	<p>・よりよい文章表現にするため、仲間と話し合うコミュニケーション能力 ・他者のアドバイスを聴き、作品に生かす共感力 (ワークシート)</p>
	4	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>ふりかえり</p> <p>4 イメージ画と組み合わせた作品に仕上げ、発表する。</p>			○	<p>・自分の考えを、相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したり、絵と組み合わせたりして書いている。 (作品)</p>	<p>・テーマに対して、清少納言の特徴を参考にして考えていく解決力 ・独自の視点を、清少納言になりきって表現しようとするチャレンジ精神 (作品)</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

枕草子（序段）を参考にして、独自の視点で捉えた四季の魅力を読み手に効果的に紹介する文章を書く。

(2) 観点別評価規準

関心・意欲・態度	書くこと
<p>・古典を身近なものとして捉え、作品に表れたものの見方や考え方に関心をもち、読み手にわかりやすい文章を書こうと工夫している。</p>	<p>・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書いている。(ウ)</p> <p>・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や表現の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。(オ)</p>

(3) 準備物

ワークシート

(4) 学習の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (・) ◆配慮を要する生徒への支援	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
導 入	1 本時の目標を確認する。 目標		
	清少納言になりきって、「わたしが見つけた四季の『をかし』」紹介文を書くことができる。		
	2 前時までの学習を振り返り、枕草子の序段の特徴や工夫点を確認する。	・独自の視点を読み手に納得させるために、清少納言の文章の工夫点を参考にさせ、意識と意欲をもたせる。	
	序段の特徴・工夫点 ① 独自の視点 ② 言い切ったあとに、詳しい描写 例：対比・色彩・五感 (視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚) ③ 説得力を持たせる工夫。 (「言うまでもない」, 「○○さえ…ましてや△△」)		
展 開	3 紹介文が清少納言になりきった文章になっているか、小グループで評価し合う。	・ポイントの3点がきちんと入っているか星の数で評価させ、その理由を書かせる。 ◆例文を使ってアドバイスを考え、評価や交流の観点を確認する。	○書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や表現の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。【書】 ★仲間と協働して解決方法を見つけ出すためのコミュニケーション能力 (ワークシート)
	4 「わたしが見つけた四季の『をかし』」を書く。	◆書けずにいる生徒に、 ・事前のワークシートの確認をさせる。 ・一つの季節や、一つのテーマを選んで書かせる。 ・評価の言葉「をかし」「あはれなり」などを使って書かせる。	○古典を身近なものとして捉え、作品の特徴や工夫点を参考に、読み手にわかりやすい文章を書こうと工夫している 【関心・意欲・態度】 ★他の意見を聴き、受け入れる共感力 (ワークシート)

ま と め	5	ふりかえりを記入し、次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日できたことを言語化させる。 ・次時は、わたしの「をかし」紹介文を完成させ、イメージ画を加えて発表することを伝える。
	<p>めざす生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の視点で切り取った季節ごとの風物詩を古語を用いて書くことができた。 ・読み手を意識して表現の工夫（詳しい描写や対比）をすることができた。 		

(5) 板書計画

独自の視点 詳しい描写 説得力をもたせる工夫 ★ ★ ★ ★ ★ ★		<p>【例文】</p> <p>〈清少納言なりきり度チェック〉 ★で評価し、その理由とアドバイスを書く。</p>	<p>夏は夜。月のころは：</p>	<p>◎ 言い切った後に、詳しい描写 ◎ 説得力をもたせる工夫</p>	<p>序段の特徴</p> <p>⊖ 独自の視点</p>	<p>本時の目標</p> <p>清少納言になりきって、「わたしが見つけた四季の『をかし』」紹介文を書くことができる。</p>